

第 1 号議案 2024 年度（2024.4.1～2025.3.31）事業報告・決算承認の件

I. 2024 年度 事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として 1974 年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っています。子ども文庫助成は 1975 年より継続して実施している事業で 2024 年度は 118 の団体を助成しました。電子図書普及事業は、2010 年からマルチメディア DAISY 図書の製作を開始し、当年度は 1,477 ヶ所に配布しました。2024 年度は、当財団設立 50 周年を迎え、記念事業として、企画展示や記念誌等の製作を行いました。また、電子図書普及事業における新規取り組みとして、「わいわい文庫」のウェブ配信システム構築に着手。一旦中断となりましたが次年度再開予定。

子ども文庫助成事業

2024 年度の子ども文庫助成事業は、国内外から合計で 162 件のご応募をいただき、その内、子どもの読書活動を支援するボランティア、病院施設等非営利団体に対する購入費助成を 62 件、100 冊の図書セットを 29 件、功労賞 2 件、特別支援学校への図書支援助成を 25 件、合計 118 件に助成しました。その他の読書支援として、東南アジアの子どもたちに向けた「シャンティ絵本を届ける運動」350 冊、及び 10 の小中学校等に被災地支援として図書を届けました。

1. 2024 年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

() 内は海外件数、内数 (単位：百万円)

	予 算		応募件数	実 績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
①子どもの本購入費助成	63	19	74 (6)	56 (5)	16.8
②病院・施設 子ども読書活動費助成	25	7.5	9 (1)	6 (0)	1.8
③子どもの本 100 冊助成	30	5	46 (5)	28 (4)	3.9
④子ども文庫功労賞	2	0.7	6 (0)	2 (0)	0.7
⑤特別支援学校図書支援助成	②に含む		27 (0)	25 (0)	7.5
小 計 1	120	32.2	162 (12)	117	30.7
⑥その他読書支援					
・シャンティ絵本を送る活動		0.8			1.4
・被災地支援	(12 校)	2		(10 校)	1.5
小 計 2		35			33.6
贈呈式費用		13			9.3
50 周年記念事業関連 (※)		22.5			23.6
その他 事業費		14.3			12.9
人件費 (福利厚生費・通勤費・退職 給付費用含む)		20.3			20.1
小 計 3		70.1			65.9
合 計		105.1			99.5

※50 周年記念事業関連費用 23.6 百万円 (記念展示 12.6、記念誌 11)。

2. 子ども文庫助成事業プログラム概要

① 子どもの本購入費助成（現金助成）

- 対象
子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等、子どもたちへの読書支援活動歴が3年以上ある団体、及び個人。
- 内容
児童書、絵本などの書籍や備品購入、及び講習会開催等に1件当たり30万円助成。

② 病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

- 対象
病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、児童養護施設で過ごす子どもたち、その他読書にハンディキャップのある子どもたちに対し読書啓発活動を行う、3年以上の活動歴がある読書ボランティア団体や個人、非営利団体、及び小児病棟、児童養護施設等。
- 内容
子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み30万円助成。

③ 子どもの本100冊助成（図書現物助成）

- 対象
子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、既に読書啓発活動を行っている団体。すでに活動を始めていれば活動歴の長さは問わない。
- 内容
当財団が選書をした小学校低学年、中学年、高学年、乳幼児の4セットの中からご希望の100冊を贈呈。任意のセットの選択、もしくは4セットに150冊リストを加えた550冊全体の中から100冊を選書することも可能。

④ 子ども文庫功労賞

- 対象
読書啓発活動に長年（20年以上）携わり、子どもの読書活動に貢献してきた個人。
※他薦による応募に限る。
- 内容
賞状、副賞（30万円及び記念品）

⑤ 特別支援学校図書支援助成

- 対象
全ての特別支援学校が応募可能。
※既に開校済み、かつ学校図書館運営等を通して読書啓発活動を行っていることが条件。
- 内容
学校図書館の蔵書となる児童書、絵本、図鑑等に加え、バリアフリー図書や機器の入手・製作のための費用にも充当可能。

⑥ その他読書支援

● シャンティの絵本を東南アジアの子どもたちへ届ける活動

- 対象
カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子どもたち。
- 内容
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が実施する「絵本を届ける運動」に、東日本大震災の被災地の子どもたちと参加し、東南アジアの子どもたちに絵本を届けています。2024年度は現地語の翻訳シールを貼り付けた日本の絵本を現地に350冊送りました。

● 被災地支援

- 内容
公益社団法人全国学校図書館協議会にご協力いただき、東日本大震災被災地の岩手県・宮城県・福島県の6校（小学校、中学校）、令和5年7月豪雨災害の秋田県の1校（幼稚園・保育園）、令和6年能登半島地震の石川県の3校（小学校、中学校）、合計10校に図書を寄贈しました。

電子図書普及事業

障害があるために、紙の書籍では読むことが困難な子どもたちの読書機会を提供するため、児童書を電子化し「わいわい文庫」と名づけ、全国の図書館や特別支援学校等へ寄贈しています。あわせて、その啓蒙活動として、障害のある子どもたちの読書支援者をサポートする「読書バリアフリー研究会」の開催や関連団体の学会等への出展を全国各地で行っています。

1. 電子図書の製作、配布

2023年度に製作した電子図書57作品を2024年度に1,477団体に寄贈しました。また、当年度は54作品を製作し翌2025年度に1,500団体に寄贈する予定。2015年度から各地の図書館に協力を求め、製作している「日本昔話の旅」シリーズは、累計96作品になりました。その他、日本パラスポーツ協会などの協力を得て、パンフレット等を電子化しました。この結果、電子図書の作品数は累計で915作品になりました。

配布年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
寄贈作品数	66	70	57	54
寄贈先	1,413	1,419	1,477	1,500(予)

● 国立国会図書館からのデータ配信開始

2021年2月以降、国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」へ「わいわい文庫」計613作品を提供し、障害者の方々がネット上でダウンロードして利用できるようになっています。2024年度の「わいわい文庫」利用者数は4,967名となっています。（参考）全マルチメディアDAISY図書利用者数7,829名

2. わいわい文庫ウェブ配信システム構想

「わいわい文庫」の利用促進と利用者の利便性向上を目指し、「わいわい文庫ウェブ配信システム」の構築に着手しました。当初 2024 年度内の運用開始を目標としていましたが、パートナーの離脱等もあり、一旦中断となりました。2025 年度に再開予定です。

3. 電子図書の啓蒙活動

①読書バリアフリー研究会の開催

各地の公共図書館の協力のもと、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て、障害のある子どもたちへの読書支援に必要な知識や方法を教職員、図書館員、ボランティアの皆様にご覧いただくことを目的に、大学教授などの専門家を招き研究会を開催しています。

2024 年度は、全 3 回の研究会を開催しました。具体的には、札幌で、「読書バリアフリーフォーラム 北海道」を開催。現地開催とリアル配信（参加者 204 名）、後日オンデマンド配信により、広域での参加を可能としました。

また、国立国会図書館 国際子ども図書館との共催によるオンデマンド配信（参加者 1759 名）を実施しました。大阪市立中央図書館では現地開催のみで 126 名の参加となりました。現地の公共図書館、学校教育関係者等に多く参加いただきました。

②他団体主催の出展・講演等への協力

下記の通り、主催団体の依頼を受け、13 カ所で出展・講演を行いました。また、他団体への寄稿及び機器の貸出等により、財団事業の周知も行いました。

ア) 文部科学省 子どもの読書活動推進フォーラム (4/23)

イ) マジカル玩具ボックス出店 (7/20)

ウ) 日本子どもの本研究会全国大会出展 (7/27、28)

エ) 東京都特別支援学校情報教育研究協議会 講演 (7/31)

オ) 那須塩原市図書館みるる(アイサポート那須)わいわい文庫体験会出展 (8/17)

カ) 千葉県教育研究会市川支会 学校図書館教育部会 講演 (9/11)

キ) 日本 LD 学会第 33 回大会出展 (10/19、20)

ク) (公財) 日本障害者リハビリテーション協会 講演 (11/16)

ケ) 内閣府 障害者週間「オンラインセミナー」講演 (12/3~27)

コ) 豊島区読書バリアフリーイベント 出展 (12/9)

サ) 日本 LD 学会第 8 回研修集会(沖縄) 出展 (2/9)

シ) 児童図書館研究会「こどもの図書館 1 月号」寄稿

ス) 文字・活字文化推進機構 Ver.BLUE CD 及び iPad 貸出
(2024/5~2025/3)

4. 電子図書普及事業部 経費内訳

(単位：百万円)

	予算	実績
製作・普及等事業費（※） （謝礼金、旅費交通費、業務委託費、消耗品費、印刷製本費）	27.7	11.5
その他 事業費	9.7	9.9
人件費（福利厚生費・通勤費・退職給付費用含む）	27.6	29.5
合計	65.0	50.9

※ウェブ配信システム構築に向けた費用は発生せず。

2024 年度（2024.4.1～2025.3.31）事業報告書の附属明細書

2024 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補捉する重要な事項が存在しないことから作成していない。

2025 年 3 月 31 日
公益財団法人伊藤忠記念財団